

緊急の交通安全キャンペーンを実施

～みらい平駅前などで交通安全を呼び掛け～

6月から7月にかけて、市内で重大な交通事故が相次いで発生したことを受け、7月23日に急ぎよ、『死亡事故抑止緊急対策キャンペーン』を実施しました。

当日は、片庭市長、常総警察署長、各団体の皆さんが参加し、みらい平駅前などで、反射材タスキなどの啓発品を配り、交通安全を呼びかけました。

市民の皆さんにおかれましては、夜間の外出時は目立つ色の服装を心がけ、反射材を身につけるなど、身の安全を確保する工夫をしていただきたいと思います。

青年農業士に2人が認定されました

茨城県では、地域農業のリーダーとして、農業担い手の確保・育成や地域農業の振興のために活躍していただく農業者の方々

を、農業経営士・女性農業士・青年農業士(農業三士)として、知事が認定しています。

今回、つくばみらい市からは、青年農業士として野口嘉徳さん(菅戸)と東郷直樹さん(板橋)の2人が認定されました。

主にトマトを生産する野口さんは「これからも変わらず、今まで続けてきたように安心・安全な農作物づくりに励んでいきたい」と話してくれました。

ニンジンなどを生産する東郷さんは「青年農業士認定はひとつのステップ。目標は茨城を代表する農家になること」と抱負を語ってくれました。

お二人の今後の活躍に期待しています。



野口さん(左)と東郷さん(右)

ます。

また、車を運転される方は、特に夜間の運転の際、スピードの出し過ぎに注意し、歩行者に細心の注意を払って安全運転に努めてください。



交通安全を呼び掛ける片庭市長

伊奈高校の茂呂さん 空手の県代表として全国大会出場

本市体育協会空手道部所属で、県立伊奈高等学校2年生の



県代表に選ばれた茂呂さん

小張地区にグラウンドを有し、地域に根ざした「おらがチーム」として応援してもらえるクラブを目指して活動しているサッカークラブ「常総アイデンティ」。そのトップチームとU・15チームが、県内の大会でそろって準優勝という成績を収めました。

県内40のチームが参加した第25回茨城県知事杯サッカー総合選手権大会で、トップチーム(18歳以上の選手で構成されるチーム)が決勝に初進出の快挙。惜しくも準優勝ではありましたが

常総アイデンティのトップチーム、 県知事杯で準優勝

～U・15チームはクラブユース選手権県大会で準優勝～

が、今後の躍進に期待です。

U・15(中学生)のチームは、平成26年度クラブユース選手権茨城県大会に出場し、準優勝という成績を納め、6年ぶりの関東大会出場を決めました。



常総アイデンティの皆さん
トップチーム(左)・U・15チーム(右)

